

<h1>3年道徳</h1>	主題名「正直に明るい心で」 1-(4) 正直誠実・明朗 資料名「6セント半のおつり」
3年2組 教諭 日向 明日美	<b>&lt;1次公開&gt;5校時</b> <b>13:30~14:15</b>

## 1. 主題設定について

### 内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容1-(4)「過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する」に当たる。児童は、日々の生活の様々な場面において、素直な気持ちで正直に振る舞うことの大切さを感じる機会も多く、本内容項目では、自分自身の経験を振り返って正直について考えていく。

### 主題の分析

本主題は、自分自身の経験と重ね合わせて、正直にできたときの心地よさや正直にできなかったときの心苦しさを自覚させ、過ちを自ら素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする意欲を高めるようにしていく。

また、本資料を活用し、正直な行動は、相手からの感謝の有無によって意義が変わるものではなく、自分が真っ直ぐにうそのない行動を貫くことで、自分自身の心が晴れやかになるということに気付かせ、正直な行動をしていこうとする態度を育てていく。

## 2. 授業改善に向けて

### 改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

#### ・資料提示の工夫

資料「6セント半のおつり」の前半部分のみ配付する。そこには、おつりを少なく渡してしまったことに気付いた後、エイブはどうしたのか、その行動がまだ書かれていない。そこで、自分がもしエイブの立場だったらどうするかを、事実と場面の状況とを照らし合わせながら、自分事として考えるようにする。後半部分の資料配付後、自分の考えとエイブがとった行動を比較して考えさせたい。

#### ・発問の工夫

エイブがお金を返しに行ったという事実に対して、わざわざその日のうちに帰さなくても良いのではないかと問い、子どもの心をゆさぶる。それにより、正直に行動すること、エイブの誠実さの素晴らしさに気付いていくことができる。と考える。

### 改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

#### ・つかむ場

自分の経験を振り返り、「正直な心」とはどんな心なのかを考える。そして、資料の前半部分を読み、寒い日で日が暮れている頃に、エイブがおつりを少なくあげたという間違いをしてしまったことに気付いた、という場面の様子を理解する。

#### ・わかる場

間違いに気付いたエイブは、その後どのような行動を取ったのかを予想し、自分がエイブだったらどうするかという視点で、自分事として考える。友達と考えを交流し合い、すぐ返した方がいいという考えと、後で返すまたは仕方がない、という考えを比べながら、正直に言うということの価値を追求していく。資料の後半部分からエイブがすぐ返しに行ったという事実を知り、自分が考えたことと比べながらエイブの実際

にとった行動について考える。

#### ・たしかにする場

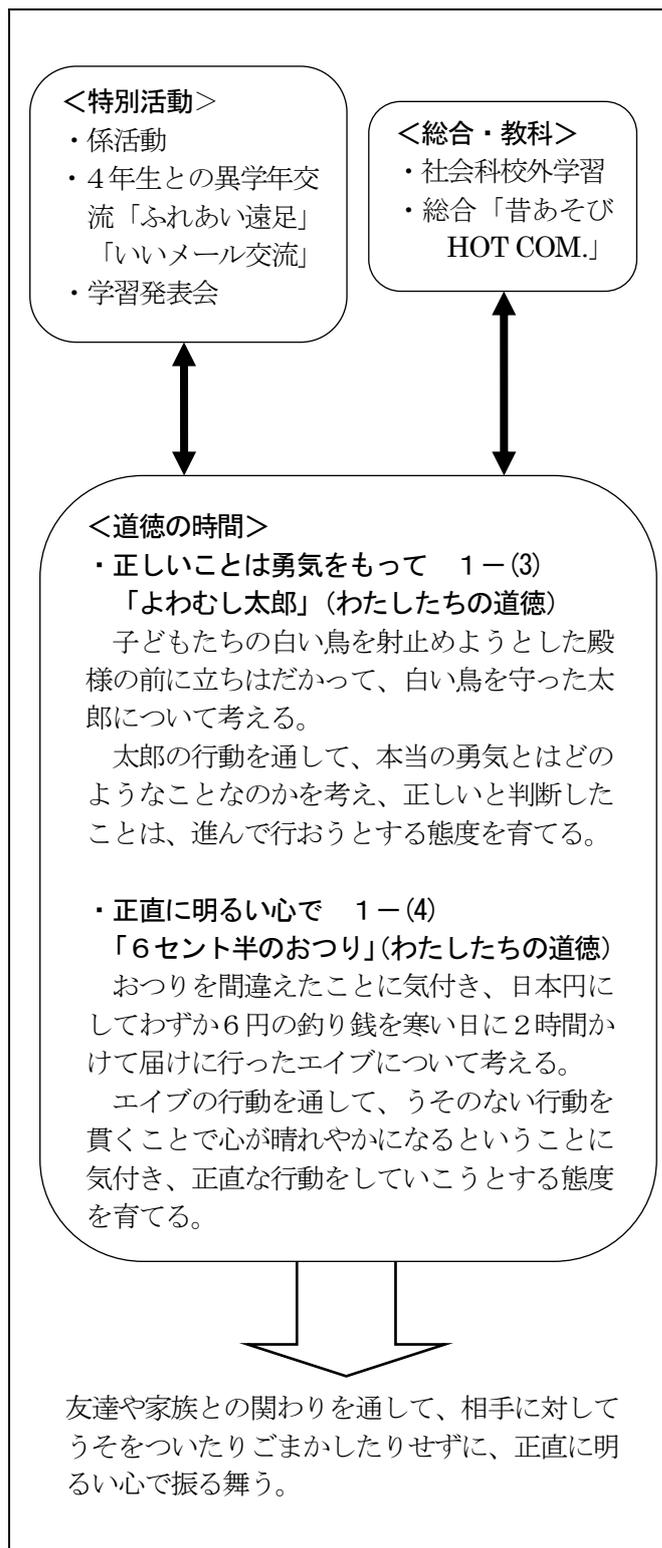
なぜわざわざその日のうちに、時間をかけて返しに行ったのかを考える。そこから、エイブのお客さんを大切にしている気持ちや、間違いに気付いたのにそのままにしてはならない誠実さなどに気付き、正直に行動することの大切さや素晴らしさについてたしかにする。

## 3. 主題構成

### ・主題のねらい

過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。

### ・主題の構成



#### 4. 本時案

本時の目標	正直に、明るい心で生活しようとする態度を育てる。							
場	子どもの意識の流れと学習活動	教師のかかわり						
つかむ	<p>○「正直な心」とはどんな心なのか考える。【話す】</p> <p>すなおな心      うそをつかない心      自分の考えを大事にする心</p> <p>○「六セント半のおつり」の資料（前半）を読む。 （～気が付かないでいました。）</p> <p>○エイブが置かれている事実と様子を確かめる。</p> <table border="1" data-bbox="419 566 1042 678"> <tr> <td>事実</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おつりが合わない</li> <li>・六セント半も少なくおつりをあげてしまった</li> </ul> </td> <td>様子</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風の吹く寒い日</li> <li>・とくに日がくれている</li> <li>・夜になると町はさびしい</li> </ul> </td> </tr> </table>	事実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おつりが合わない</li> <li>・六セント半も少なくおつりをあげてしまった</li> </ul>	様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の吹く寒い日</li> <li>・とくに日がくれている</li> <li>・夜になると町はさびしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験を振り返り、「正直な心」について考えるようにする。</li> <li>・前半の資料のみ配付することで、その後のエイブの行動について予想できるようにする。</li> <li>・どの子にも大まかな話の展開が分かるように、エイブが置かれている状況について確認する。</li> </ul>		
事実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おつりが合わない</li> <li>・六セント半も少なくおつりをあげてしまった</li> </ul>	様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の吹く寒い日</li> <li>・とくに日がくれている</li> <li>・夜になると町はさびしい</li> </ul>					
わかる	<p><b>おつりを間違えたエイブは、どんなことを考えたのだろう。</b></p> <p>○お客さんに、間違っておつりを少なく渡してしまったときのエイブの気持ちを考える。【話す・書く】</p> <p>自分だったらどうするだろう</p> <table border="1" data-bbox="419 880 1042 1059"> <tr> <td>すぐ返す</td> <td></td> <td>あとで返す</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人のお金だから、多くもらってはいけない。</li> <li>・間違いは間違いだから返さないとはいけない。</li> </ul> </td> <td>&lt;エイブ&gt; 困ったな</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しだけの間違いだから、これくらいはいいかな。</li> <li>・今度会ったときに渡せばいい。</li> <li>・今日はもう遅いから…</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>○後半の資料を読む。</p> <p>夜遅く寒い 十キロもある 二時間もかかる場所なのに！</p> <p>今日のうちに、返してこよう</p>	すぐ返す		あとで返す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のお金だから、多くもらってはいけない。</li> <li>・間違いは間違いだから返さないとはいけない。</li> </ul>	<エイブ> 困ったな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しだけの間違いだから、これくらいはいいかな。</li> <li>・今度会ったときに渡せばいい。</li> <li>・今日はもう遅いから…</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がエイブだったらどうするかを考え、シートに記入させる。友達の考えを聞くことで、自分の考えと比較したり、関心付けたりできるようにする。</li> <li>・すぐ返した方がいいという考えと、後で返す、または仕方がないという2つの立場から考えさせることで、正直に言うということの価値を追求させる。</li> <li>・後半の資料を読む。自分の考えとエイブがとった行動を比較して考えさせる。</li> </ul>
すぐ返す		あとで返す						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のお金だから、多くもらってはいけない。</li> <li>・間違いは間違いだから返さないとはいけない。</li> </ul>	<エイブ> 困ったな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しだけの間違いだから、これくらいはいいかな。</li> <li>・今度会ったときに渡せばいい。</li> <li>・今日はもう遅いから…</li> </ul>						
たしかにする	<p>たった六セント半のお金なのに！</p> <table border="1" data-bbox="419 1238 1042 1328"> <tr> <td>お客さんを大切に する思いがあった</td> <td>間違ってしまった ことの申し訳なさ</td> <td>間違ったらすぐに 行動すべきだから</td> </tr> </table> <p>○リンカーンという人物について知る。</p> <p>○今日の学習を振り返る。【書く・話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リンカーンの行動を知って、自分も正直に行動したいと思った。</li> <li>・少ないお金でも、間違ったらちゃんと返すべきだと思った。</li> <li>・友達に、間違ったことをしたら、ちゃんとあやまろうと思った。</li> </ul> <p><b>間違ってしまったときは、正直に謝ったり、行動にうつしたりすることが大切なことなんだ。</b></p>	お客さんを大切に する思いがあった	間違ってしまった ことの申し訳なさ	間違ったらすぐに 行動すべきだから	<p>【吟味する交流の手立て】</p> <p>「わざわざその日のうちに返さなくても良いのではないか」と問うことで、正直に行動することや、エイブの誠実な気持ちの素晴らしさに気付くようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悩むことなくお客さんのもとに向かったエイブの姿から、リンカーンという人物を知り、正直に行動することの大切さを感じ取らせる。今後の自分自身の生活への意欲を高めさせる。</li> <li>・今日の学習を振り返りを書くことで、「正直な心」で友達と関わるようになっていくようにする。</li> </ul>			
お客さんを大切に する思いがあった	間違ってしまった ことの申し訳なさ	間違ったらすぐに 行動すべきだから						
本時の目指す子どもの姿	間違ったときは、自分に正直な行動をとることの大切さに気付く。							

#### 5. 板書計画

